

平成30年度
市長懇談会
「庄原いちばん談議」
(西城紫水高等学校)

平成31年2月22日(金)
西城紫水高校2階大会議室
15:00～16:00

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 西城紫水高校からの発表及び懇談・意見交換
懇談テーマ
「西城町とともに歩む紫水高生」
～地域貢献と地域交流～

○地域貢献・地域交流の取り組み紹介(生徒会)
(1) 西城地域貢献活動講座
(2) ボランティア活動
(3) 体育祭

○郷土芸能の理解と承継(神楽部)
(1) 神楽部の活動
- 4 高校生からの質問
- 5 市長まとめ
- 6 記念撮影
- 7 閉 会

平成30年度 市長懇談会
「庄原いちばん談議」

西城町とともに歩む紫水高生 ～地域貢献と地域交流～

平成31年2月22日(金)
広島県立西城紫水高等学校

本日の報告

- 地域貢献・地域交流
 - 1 西城地域貢献活動講座(教科)
 - 2 ボランティア活動
 - 3 体育祭 (学校行事)
- 郷土芸能の理解と継承
 - 4 神楽部 (部活動)

地域貢献・地域交流

1 西城地域貢献活動講座 (学校設定教科)



講座の主旨

(1) 目的

- ① 紫水校生の力を西城町の活性化のために役立てる。
- ② 紫水校生の社会性や自己肯定感を育てる。
- ③ 今後の進路選択の契機とする。
- ④ 西城町の方々から応援していただける関係を築く。



(2) 目標

- ①任せられた業務に創意工夫して誠実に取り組む。
- ②協同して取り組み、円滑な人間関係を築く能力を養う。
- ③責任感を持つとともに、進路選択の契機とする。
- ④郷里への理解や愛情を深め、地元貢献への志を持つ。
- ⑤地域から、本校生徒への励ましや応援の声が寄せられる。



講座内容

(1) 講座の概要



- ・ 2、3年生対象の選択科目
(現在8割以上の生徒が履修)
- ・ 毎週木曜日の午後(5・6限目)に実施
- ・ レポートや活動内容から記述により評価を行う

(2) 年間計画

① 2年4月～7月

事前学習

(西城町の現状, マナー講座等)



② 2年9月～3年7月

実習

(16か所の実習先に分かれる)

③ 3年9月～2月

まとめ

(学習成果報告会で発表)

(3) 実習先 (16か所)

西城保育所
美古登小学校
温水プール水夢
西城市民病院
西城自治振興区
観光協会
西城交通
西願寺

西城小学校
図書館西城分室
しあわせ館
愛善苑
社会福祉協議会
和田モータース
蓮照寺
校内の美化・園芸



学習の成果

1月24日 学習成果報告会



実習でわかった本当の仕事

人に喜んでもらえるよう

自分で考え, 工夫すること



段ボールで
迷路作り

掲示物の
作成



実習を通して考えた未来

現状 園児が地域や自然と
触れ合うことが少ない



課題 ・交流するための調整が大変
・遊べる山や川が近くにない

公園の整備・活用

理想のビジョン

園児が地域や自然と触れ合いながら遊べる町

地域貢献・地域交流

2 ボランティア活動



ボランティア清掃

●学期末試験を目安に実施



●7月豪雨災害(西城新橋の清掃)



●放課後、有志で西城川の清掃



保・小・中・高連携
西城クリーンデイ

共同作業、みんなで



一人暮らしの高齢者への
プレゼント配り



高齢者にカレンダー配布
西城養水高生が手作り



自原市西城町の町域に限定。
養水の高齢者たちが、
町内の一軒一軒を訪ねて
手作りのカレンダーを
配布する。配布のメ
ンバーも入りが
上がった。地域を
交流の場として、
高齢者への関心
が深まり、町内
と、自原市、日
と、絆を醸成して
いる。全高生が
担当している。

西城養水高生（左）から
カレンダーを受け取る高齢者

又のグループに分か、味をもらってと、高
な、地味な真面目で
高生を、西城
生会長である伊
小の、一軒のグループ
少からカレンダーを
受け取った。高生と
高生は、「とても楽し
とを待つていた。子
たちの交流は元
（伊藤友一）

「おめでとうございます。西城養水高生が手作りのカレンダーを配布してくれました。とても嬉しいです。」と、高生が、高生に、お礼の言葉を述べている。高生は、高生が、高生に、お礼の言葉を述べている。高生は、高生が、高生に、お礼の言葉を述べている。

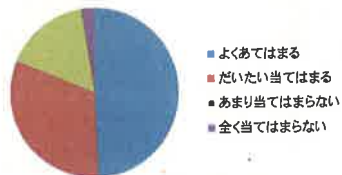


●自分たちの手で届ける

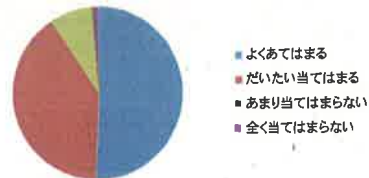


実施後...

お年寄りと交流ができた



住みやすい町にするために役立ったと思う



【生徒感想】

- 高齢者の人は私達生徒と接する時間を大切にされていることが分かった。私達も高齢者を大切にしたい。
- 道に迷っていたり、インターホンがなく困っていたりしたら、地域の方が助けてくださった。地域の方の優しさが分かり、地域との交流の大切さが分かった。
- 足がとても痛いのに出て来てくださる優しい方や、涙を流して感謝して下さる方もいた。とても喜んでいただき、自分たちの方が感謝の気持ちでいっぱいになった。

地域行事での活動(西城・庄原)



- ひろしま
クロスカントリー大会
- いざなみック2018

ボランティア活動を通じて



地域貢献・地域交流

3 体育祭



紫水の体育祭の特徴

その① 37年ぶりに復活！！

平成29年度
第1回 体育祭



平成30年度
第2回 体育祭



紫水の体育祭の特徴

その② 地域の体育祭



地域の小学生・保育園児と共演！！



紫水の体育祭の特徴

その② 地域の体育祭



地域に住んでいる方々と競争！！



紫水の体育祭の特徴



地域の体育祭



体育祭の効果



その① 生徒の頑張る場 アンケート結果より

Q1.体育祭が楽しみ(事前), 楽しかった(事後)。

47% → 91% ↑45%

Q2.体育祭に参加したい(事前), してよかった(事後)。

56% → 89% ↑33%

Q3.体育祭を成功させるために頑張る(事前)頑張れた(事後)。

62% → 93% ↑31%

体育祭の効果

その② 西城町の

○体育祭の来場者数が

平成29年度

200人



3. 今後の展望

① 生徒自身が運営

生徒会を中心に体育祭の運営を生徒が行う！！



② 西城町民をもっと巻き込む

西城地域貢献活動の派遣先の人たちに参加してもらう！





郷土芸能の理解と継承

4 神楽部



西城紫水高校神楽部の活動

- ・現在部員13名
- ・比婆荒神神楽を舞う活動
- ・35年間にわたり、西城町神楽愛好会に御指導・御協力をいただきながら、学校行事の他、地域の催しなどで上演



紫水祭(文化祭)



紫水祭(文化祭)



三校連携クリスマスコンサート

庄原格致高校
東城高校との
連携行事



(祭) 地域の催し



高校生の神楽甲子園ひろしま安芸高田



全国から様々な
伝統芸能を受け継
いでいる高校生が
参加



神楽部の活動を通して
＜地域との深い関わり＞
西城町神楽愛好会の皆さんとの交流



神楽部の活動を通して
＜地域との深い関わり＞
伝統文化である比婆荒神神楽の継承



日本全国に向けて
比婆荒神神楽を発信



伝統を守る気持ちを
継承していく

神楽部の活動を通して
＜地域との深い関わり＞
神楽を楽しんでくださる地域の方との交流



平成30年度 市長懇談会
「庄原いちばん談議」

西城町とともに歩む紫水高生
～地域貢献と地域交流～



ご清聴ありがとうございました。



【「庄原いちばんづくり」とは「まちづくり」の方針】

市は、活力ある「ふるさと」を実現し、美しい「ふるさと」を未来に受け継いでいくために、さまざまな取り組み、つまり「まちづくり」を行っています。この「まちづくり」の方針が「庄原いちばんづくり」です。

市が「まちづくり」を行っていく上で最も上位となる計画を「長期総合計画」といいますが、この計画にある政策や施策の中で、重点的に取り組むものを取りまとめており、次の3つの柱（分野別政策）で構成されています。

- ①「地域産業」のいちばん
- ②「暮らしの安心」のいちばん
- ③「にぎわいと活力」のいちばん

【「いちばんづくり」の「いちばん」とは】

数値や量、順位などを他の地域と比較したものではなく、「しあわせ」や「安心」、「達成感」や「満足感」といった、心の「いちばん」が実感できることを意図しています。

庄原市は、市に関わりのある人々が「やっぱり、庄原がいちばんええよのお」と思えるような「まちづくり」に取り組んでいきます。そして、「次代につながる庄原市」の実現に向け、歩みを進めています。



政策 1 「地域産業」のいちばん

農業や林業など庄原が誇る産業を元気に！

①「比婆牛ブランド」の復活！

かつて「全国和牛能力共進会」（昭和57年、62年）で日本一の快挙を成し遂げ、68年には畜産界最高の栄誉である天皇賞を受賞した「比婆牛」ブランドが平成26年7月に復活しました。

・安心の認証ブランド！

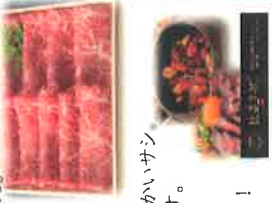
「比婆牛」は庄原市が認証する安心の地域ブランドです。

・逸品の味わい！

無駄な脂肪が少なく、鮮やかな紅色に入った細かいサシ一口食べると深いコクと豊かな風味が味わえます。

・新！庄原グルメ「比婆牛」の開発

市内の飲食店で気軽に「比婆牛」が味わえます！



② 新たな食の魅力をブランドイング！

県内最大級の食材の宝庫という強みを活かし、ご当地グルメや特産品の開発を行うとともに、「庄原ブランド」のPRをしています。

・庄原産の米のブランド化

- 「里山の夢」(庄原里山の夢ファーム)
- 「第2回大阪府民のいっちゃんうまい米コンテスト」総合最優秀賞
- 「比婆の神米」(西城町おいしい米づくり研究会)
- 「第15回お米日本一コンテストinしずおか」金賞
- 「東城米」(株式会社 蘆本農園)
- 「第1回大阪府民のいっちゃんうまい米コンテスト」総合最優秀賞



政策 2 「暮らしの安心」のいちばん

全ての市民の安心安全な暮らしを守る！

① 安心を実感できる子育て環境の整備！

地域の未来を担う子どもたちは、庄原の宝といえます。「子育ては庄原がいちばん！」と胸を張っていえる環境づくりに取り組んでいます。

・庄原赤十字病院における産科医療再開

長らく休止していた庄原赤十字病院の産科医療が、平成30年4月から再開され、5月10日には待望の赤ちゃんが誕生しました。

12月末までに62人の赤ちゃんが誕生しています。

・「こども未来広場」の整備

平成30年7月に、小児科診療所「庄原こどもクリニック」と病児病後児保育施設「わらべ保育園」を開設しました。



② 市内全域に光ケーブルを敷設！

平成30年度、市内全域で超高速情報通信サービスが利用できるようになりました。

・高速、大容量

データ通信速度は1Gbpsで、音楽のダウンロードやYouTubeの視聴が滑らかに行えます！

・住民告知端末を各戸に設置

行政情報や緊急時の災害情報が聞ける！



他にも、ICT(情報通信技術)と組み合わせることで、都会と同様のサービスを受けることが可能です。



政策 3 「にぎわいと活力」のいちばん

観光振興などで活力ある地域に！

① 豊かな地域資源を活用した観光振興！

西城川を活用したラフティング(川下り)体験など、さどやま・庄原ならではの魅力ある体験型観光プログラム開発などを行い、選ばれる観光地庄原をめざします。

・「比婆いざなみ街道」(※)の活用

「いざなみ街道」沿線の神話・伝説の舞台や豊かな自然が育んだおいしい食材、息を飲むような美しい風景などの地域資源をつなぎ、それらの相乗効果により、この埋もれている“宝”を光らせます。マラニック(マラソン+ピニック)大会などを開催し市の魅力をPRしています。



比婆いざなみ街道



(※)比婆いざなみ街道 中国道 粟津IC～本江道 高野ICを結ぶ16.4kmの路線

・体験型教育旅行の誘致

関西や関東地方の大規模校を中心に、平成29年度は7校、1,421人の生徒を受け入れました。農家民泊や農作業などの体験は大変好評です。



